

一宮市

# 入退院における連携・情報共有のためのガイドライン

～本人・家族を支えるために医療・介護の専門職（多職種）  
が共同して取り組むための手引き～

Ver1.1

2020年10月

製作者・発行者：一宮市在宅医療・介護連携推進協議会  
監修：ケアマネT一宮／一宮SW連絡会

# 目次

## I はじめに

- 1) はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2) 目的、ガイドラインの構成と使い方・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3) 入退院連携・情報共有の基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

## II 入退院連携について

- 1) 両職種から見た連携・情報共有のポイント・・・・・・・・ 5～8
- 2) ケアマネジャーから、本人・家族への5つのお願い・・・・・・・・ 9

## III 参考資料

- 1) 一宮市地域連携アセスメントシート・・・・・・・・ 11  
一宮市地域連携アセスメントシート  
“別紙” 入院時情報提供先の病院担当窓口の一覧・・・・・・・・ 12
- 2) 救急患者基本情報シート・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 3) 一宮市介護サービス共通診断書（入所、通所等）・・・・・・・・ 14～15
- 4) 主治医・ケアマネジャーFAX連絡票・・・・・・・・ 16
- 5) 医療ソーシャルワーカーのいる病院・・・・・・・・ 17
- 6) 尾張西部医療圏 看護・介護連携シート・・・・・・・・ 18
- 7) 参考、引用したデータベース・・・・・・・・ 19

# I はじめに

## はじめに

日本の総人口は、国立社会保障・人口問題研究所によると、1967年には初めて1億人を超え、2008年の1億2,808万人をピークに減少に転じた。推計によると、2048年には9,913万人と1億人を割り込み、2060年には8,674万人まで減少すると見込まれています。高齢化の水準として一般的な指標である総人口に占める65歳以上人口の割合をみると、1970年に7%を超えてから急速に上昇し、2013年の25.1%、2017年の27.7%となりました。

高齢化率の将来像としては、総人口が減少する中で65歳以上人口が増加することにより上昇を続け、2025年に30.3%、2036年に33.3%で3人に1人となると推計。

また、『平成29年版高齢社会白書』によると65歳以上の高齢者について子どもとの同居率をみると、1980年にほぼ7割であったが、1999年に50%を割り、2014年には40.6%となり、子どもとの同居の割合は大幅に減少。

一人暮らし、又は夫婦のみの世帯については、ともに大幅に増加しており、1980年には合わせて3割弱であったものが、2004年には過半数を超え、2014年には55.4%まで増加しています。

これら人口の高齢化に伴う課題に横断的に対応するため、政府は、2018年02月に高齢社会対策基本法に基づき、『高齢社会対策大綱』を見直し、以下の目的を掲げています

- 1) すべての年代の人々が意欲・能力をいかして活躍できるエイジレス社会を目指す。
- 2) 地域における生活基盤を整備し、人生のどの段階でも高齢期の暮らしを具体的に描ける地域コミュニティを作る。
- 3) 技術革新の成果が可能にする新しい高齢者対策を志向する。

今後、一宮市でも、高齢社会を背景に、単身高齢者世帯、高齢者のみ世帯、さらには認知症高齢者のさらなる増加に、これまで以上に医療・介護需要の高まりが当然ながら見込まれており、個別の医療介護機関での対応にとどまらず、地域で包括的且つ持続的なサービス提供体制構築が急務とされています。

2016年に、一宮医師会によって、『高齢者の入退院および救急搬送に関するアンケート』が市内全域に行われた。そこで浮き彫りになってきたことの1つが、入退院におけるケアマネジャー、医療ソーシャルワーカーの連携についてであった。特に退院を控えた時期に対する連携不足に関する意見が大半であった。

つまり、高齢者の入退院を支えるべき、その連携が、各医療介護事業所、またはケアマネジャー・医療ソーシャルワーカー個々に任されてきたことで、十分に機能していないことが明らかになったのである。

今回のガイドライン作成においては、一宮市高年福祉課において、2017年度からの2年に渡り、「一宮市在宅医療・介護職員多職種連携研修」の中に、ケアマネT一宮・一宮SW連絡会の入退院連携に関する合同研修を位置づけて頂くことで、今後あるべき入退院連携に向け、大きな推進力を得るに至りました。

さらに、一宮市多職種連携・住民普及啓発ワーキンググループの一宮医師会、一宮歯科医師会をはじめ多くの委員の皆様には多大なるお力添えをいただきました。これらすべての関係者の皆様に感謝を申し上げます。

ケアマネT一宮、一宮SW連絡会は、一宮市民の皆様の「住み慣れた場所で、その人らしく生活し続ける」という願いを叶えていきたいと考えております。

その為にも本ガイドラインが、一宮市内の入退院時の医療機関等の多職種と、ケアマネジャーをはじめ、在宅医療介護を支える皆さんとの円滑な連携・情報共有のために参考になれば幸いです。

2019年03月  
ケアマネT一宮  
一宮SW連絡会

## 目的

- ①入院直後からはじまる在宅退院に向けての入退院連携が、適切且つ円滑に行うことができる
- ②本人・家族の意向を尊重し、安心して在宅生活へ移行ができるための入退院連携・情報共有の標準化

## ガイドラインの構成と使い方

### 1. 活用していただきたい方

一宮市内で、入退院連携に関わる医療介護の専門職の全ての方々。

〔本ガイドラインの「サービス提供者」には、かかりつけ医、歯科医、薬剤師、訪問看護、訪問介護、通所サービス、短期入所、福祉用具などの職種の方々が含まれます。〕

### 2. 想定している支援対象者

- ①65歳以上の方
- ②介護保険第2号被保険者
- ③在宅へ退院される方（自宅、有料老人ホームなど）

### 3. 想定している場面

介護サービスを利用しながら在宅生活を営んでいることを前提に、入院加療後、在宅生活に戻る設定です。4つの時間軸で概観できるようにし、連携・情報共有のポイントをフロー図にまとめました。

具体的には、

- 1) 普段：日常生活を送る場面
- 2) 入院時：予定された入院、または緊急入院から、3日及び7日まで
- 3) 入院中：8日目以降、退院までのおおむね7日程度を想定
- 4) 退院時：退院までのおおむね7日間程度を想定

### 4. ガイドラインの意味と、実践

まず、マニュアル（ルール）は基本的に読み手に判断する部分はなく、誰が実行しても同じ結果が得られます。

しかし、実際の入退院連携では個別の事情に合わせた柔軟な対応が求められるの言うまでもありません。

一方で、ガイドラインとは、物事を判断するための指針・指標のことです。標準化しにくく、マニュアル化が難しい入退院連携は、ガイドラインの方向性を持たせることが有効と考えました。

本ガイドラインを参照することで、各専門職は自身の置かれた状況を加味した判断を下せるよう、判断基準・検討にあたっては、考慮すべきポイントなどを記載してあります。実行者による異なる状況許容することも大切です。

### 5. 各専門職の共通目標

本ガイドラインでは、各専門職に共通する目標を、「本人・家族の望む医療や介護の尊重」、「本人・家族のQOLの向上」とし、自立と尊厳を支える質の高い、標準的な入退院連携・情報共有を目指します。

## 入退院連携・情報共有の基本理念

一宮市に暮らす高齢者の皆さんが、医療・介護が必要になっても、できる限り住み慣れた地域で、自分らしく、安心して暮らすためには、医療や介護サービスが包括的・継続的に提供されることが大切です。

1. 本人・家族の意向を尊重する
2. 医療・介護を担う多職種連携を推進する
3. 生活を支える包括的・継続的な支援・連携を行う
4. 専門職の視点を明確にし、情報共有を行う

## Ⅱ 入退院連携について

# 両職種から見た連携・情報共有のポイント

ケアマネジャー		時間	医療ソーシャルワーカー 入退院調整看護師	
<p>本人、家族へ</p> <p>○在宅療養支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から、少しずつ、もしもの入院に備え、『ケアマネジャーから本人・家族への5つのお願い“いちのみや”』を活用する。</li> <li>・緊急連絡先、病状、かかりつけ医療機関などを『救急患者基本情報シート』にまとめ、ご自宅の目につく場所に置いておくことと安心。</li> <li>・『一宮市地域連携アセスメントシート』をもしもの入院時、入院先医療機関へ送付することを伝えおく</li> </ul>	<p>サービス提供者へ</p> <p>○情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの利用状況を把握。</li> <li>・本人・家族の状態変化や、気になる事があった場合は、連絡がもたらえる様に依頼しておく。</li> </ul>	<p>本人、家族へ</p> <p>○在宅療養支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来、予定入院でも、療養生活上の問題を抱えている場合は、相談に応じ、問題を早期発見し、解決していきける働きかけ。</li> </ul>	<p>ケアマネジャー及びサービス提供者へ</p> <p>○情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来通院、予定入院でも、療養生活上の問題があるのと判断した場合は、本人・家族の了承を得て、ケアマネジャーと連絡を取る。</li> </ul>	<p>院内へ</p> <p>○外来の医師、看護師との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院経緯、病状経過、家族状況、入院前の生活状況などを外来スタッフから早期に得ておく。</li> <li>・入院が決定した時点から、退院支援の必要性のスクリーニングしておく。</li> </ul>
<p>一もしにも備えておく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予期せぬタイミングで体調が崩れると、本人・家族も慌てるのが常です。落ち着いた普段から少しずつ、一宮市の各種ツールを活用しながら、備えておくことが連携のポイントです。</li> </ul>		<p>普段から</p>		
<p>一もしにも必要に応じて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通院、予定入院の段階でも、体調や日常生活に影響があり、家族の役割、介護サービス調整が必要なものもあります。気が付いた時には、ケアマネジャーやサービス提供者へ連絡を取りましょう。</li> </ul>				



# 両職種から見た連携・情報共有のポイント

ケアマネジャー		医療ソーシャルワーカー 入退院調整看護師	
本人、家族へ	医療ソーシャルワーカー 入退院調整看護師へ	本人、家族へ	ケアマネジャー及び サービス提供者へ
<p><b>○情報共有</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ケアマネジャーから、本人・家族への5つのお願い“いちのみや”に基づいて、入院把握。</li> <li>入院時の病状、入院期間の目安など確認。</li> <li>入院先医療機関への情報提供の了解を得る。</li> <li>病状説明や退院見込みが分かったら連絡をお願いします。</li> <li>担当医師、担当医療ソーシャルワーカーの名前を確認。</li> </ul>	<p><b>○情報共有</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『一宮市地域連携アセスメントシート』を早期に完成させ、連絡を入れてから情報提供を行う。文面だけでは伝わらないこともあるので言葉进行交流しましょう。</li> <li>入院把握が遅れたとしても、情報提供を行う。</li> <li>入院時の病状、入院期間の目安などを確認。</li> </ul>	<p>本人、家族へ</p> <p><b>○退院支援の必要性のスクリーニング</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院が決定した時点。外来から開始。</li> </ul>	<p>ケアマネジャー及びサービス提供者へ</p> <p><b>○情報共有</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービス提供者へ入院したことを連絡し、サービス中止依頼。</li> <li>入院直前のサービス利用時の様子を確認。</li> <li>入院時の病状、入院期間の目安などを連絡。</li> <li>かかりつけ医に入院したことを連絡する。</li> </ul>
<p><b>時間</b></p> <p>入院時（3日以内）</p>		<p>入院時（7日以内）</p>	
<p><b>○初回面談</b></p> <p>スクリーニングを基に、医師からの説明への同席をはじめ、担当であることを伝え、面談を通じて以下を確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院前の生活状況確認</li> <li>今後についての意向確認</li> <li>ケアマネジャーへの情報共有の了解を得る</li> </ul>		<p><b>○情報共有</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当ケアマネジャーが分かった場合、本人・家族に了承を得て、情報共有を図る。</li> <li>入院したことをはじめ、入院時の病状、入院期間の目安などを確認し伝える。</li> <li>『一宮市地域連携アセスメントシート』の提供依頼。</li> <li>ケースに応じて、かかりつけ医や訪問看護に連絡し、情報提供を依頼する。</li> </ul>	
<p><b>○カンファレンスの実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病状、治療方針、今後の病態予測、退院の目安を確認</li> <li>退院に向けての支援計画と準備（退院支援計画）</li> </ul>		<p><b>○カンファレンスの実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病状、治療方針、今後の病態予測、退院の目安を確認</li> <li>退院に向けての支援計画と準備（退院支援計画）</li> </ul>	



**—入院時の実際—**

入院が決定してから時間軸の目安として、3日・7日以内とありますが、このプロセスを出来る限り早く始めることで、退院支援に向け早期にアセスメントが可能となります。結果、本人・家族にとっても生活背景を早期に掴み、退院後をイメージした医療や退院支援ができることに繋がります。

また、入院把握が遅れ、それぞれの期間を越えていたとしても、気が付いた時が連携を始める時期となります。

また短い期間で入退院を繰り返した場合も、『一宮市地域連携アセスメントシート』はその都度、情報提供することが大切です。大きく生活状況は変わっていないことも入院先医療機関にとっては重要な情報となります。

**—意思決定支援—**

本人・家族の思いは病状の変化や治療状況によって変化することも予測されるので、随時把握していくことが求められます。

# 両職種から見た連携・情報共有のポイント

ケアマネジャー		医療ソーシャルワーカー 入退院調整看護師	
本人、家族へ	医療ソーシャルワーカー 入退院調整看護師へ	本人、家族へ	ケアマネジャー及び サービス提供者へ
時間		時間	
<p><b>○面談</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後について意向確認。</li> <li>・退院後の具体的なニーズの把握。</li> </ul>	<p><b>○情報共有と連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治療の進捗状況、現状のADLや認知機能、継続的な医療の必要性、具体的な退院の目安等を確認。</li> </ul>	<p><b>○面談</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後について意向確認。</li> <li>・退院後の具体的なニーズの把握。</li> </ul>	<p><b>○情報共有と連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治療の進捗状況、現状のADLや認知機能、継続的な医療の必要性、具体的な退院の目安等の情報を提供。</li> </ul>
<p><b>○退院時の状態を予測する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険区分変更申請の必要性</li> <li>・在宅復帰の可能性</li> <li>・食事、リハビリ、病状説明など同席</li> <li>・住環境確認と、外出泊時の状況確認</li> <li>・サービス内容変更の必要性</li> <li>・住宅改修や福祉用具の変更</li> <li>・退院前カンファレンスの必要性</li> </ul>	<p><b>○継続した情報交換</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院直前に慌てることが多いという問題点に着目して入退院連携の在り方を見直してきた背景からも、この入院期間中に、本人・家族、ケアマネジャー、医療ソーシャルワーカー・入退院調整看護師間で入院中のプロセスを繰り返し、継続したやりとりが出来るかが鍵。</li> </ul>	<p><b>○退院時の状態を予測する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険区分変更申請の必要性</li> <li>・在宅復帰の可能性</li> <li>・食事、リハビリ、病状説明など同席</li> <li>・住環境確認と、外出泊時の状況確認</li> <li>・サービス内容変更の必要性</li> <li>・住宅改修や福祉用具の変更</li> <li>・退院前カンファレンスの必要性</li> </ul>	<p><b>○情報共有と連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治療の進捗状況、現状のADLや認知機能、継続的な医療の必要性、具体的な退院の目安等の情報を提供。</li> </ul>
<p><b>○情報作成の依頼</b></p> <p>退院に向け必要となる情報作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『尾張西部医療圏看護介護連携シート(看護サマリー)』</li> <li>・『リハビリサマリー』</li> <li>・『一宮市介護サービス共通診断書(入所、通所等)』</li> <li>・『主治医意見書』など</li> </ul>	<p><b>○情報作成の依頼</b></p> <p>退院に向け必要となる情報作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『尾張西部医療圏看護介護連携シート(看護サマリー)』</li> <li>・『リハビリサマリー』</li> <li>・『一宮市介護サービス共通診断書(入所、通所等)』</li> <li>・『主治医意見書』など</li> </ul>	<p><b>○情報作成の準備</b></p> <p>退院に向け必要となる情報作成開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『尾張西部医療圏看護介護連携シート(看護サマリー)』</li> <li>・『一宮市介護サービス共通診断書(入所、通所等)』</li> <li>・『リハビリテーションサマリー』</li> <li>・『主治医意見書』</li> <li>・『訪問看護指示書』など</li> </ul>	<p><b>○情報共有と連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治療の進捗状況、現状のADLや認知機能、継続的な医療の必要性、具体的な退院の目安等の情報を提供。</li> </ul>
<p><b>○退院前カンファレンスの事前準備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催目的の明確化</li> <li>・日時、場所の設定</li> <li>・サービス提供者へ参加依頼</li> <li>・本人と家族の意向</li> <li>・暫定ケアプラン準備</li> </ul>	<p><b>○退院前カンファレンスの事前準備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催目的の明確化</li> <li>・日時、場所の設定</li> <li>・サービス提供者へ参加依頼</li> <li>・本人と家族の意向</li> <li>・療養生活上の検討課題</li> </ul>	<p><b>○退院前カンファレンスの事前準備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催目的の明確化</li> <li>・日時、場所の設定</li> <li>・院内参加者の確認</li> <li>・サービス提供者へ参加依頼</li> <li>・病状経過、本人と家族の意向</li> <li>・療養生活上の検討課題</li> </ul>	<p><b>○退院前カンファレンスの事前準備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治療の進捗状況、現状のADLや認知機能、継続的な医療の必要性、具体的な退院の目安等の情報を提供。</li> </ul>



**一転院の場合**  
『一宮市地域連携アセスメントシート』は、転院先にも送付することで、入院前などのような生活をしてきたか、より具体的に情報が引き継がれます。合わせて、転院となる場合には、ケアマネジャーにも、日時と目的など忘れずに連絡をしましょう。



事業所名

ケアマネジャー

電話番号

## ケアマネジャーから、 本人・家族への“5つのお願い いちのみや”

本人・ご家族に、切れ目のない介護サービスを提供し、安心・安全な生活を送っていただくために、ケアマネジャーから以下の5つのお願いです

もしも、本人がご入院された場合は、

### ① い つもの備え

受診・入院に備えて、医療保険証と一緒に、介護保険証、お薬手帳、ケアマネジャーの名刺をまとめておきましょう。  
自らが望む医療や介護について少しずつ考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有しておきましょう。さらに緊急時に備え、家族の連絡先など含め、『救急患者基本情報シート』に記載しておくことで安心です。

### ② ち からになります

病院へ、ケアマネジャーの氏名、連絡先を伝えましょう。

入院が決まったら、出来るだけ早くケアマネジャーへ連絡をしましょう。

### ③ の りこえましょう

退院後、すみやかに自宅での生活が始められるよう準備いたします。  
“今、どんな状況か”を早めに知りたいので、病院からの説明内容（病状、退院めどなど）は、ケアマネジャーにもお教えてください。必要によっては、病院での病状説明などにも同席します。

病院から何らかご説明があった場合は、

### ④ み んなで応援

退院後の生活の意向や、介護サービスの希望を伝えましょう。  
退院のめどがついてきたら、ケアマネジャーにご連絡をください。病院スタッフと共に応援させていただきます。

自宅に帰ってからも、

### ⑤ や くそくです

退院後は、デイサービス・ヘルパーなどのサービス事業所とともに支援していくことを約束します。

2019年3月  
ケアマネT一宮  
一宮SW連絡会

## Ⅲ 參考資料

# 一宮市地域連携 アセスメントシート

下記利用者(家族)の同意に基づき、利用者の身体・生活機能等の情報を提供します。

情報提供先  
医療機関名

年 月 日

基本情報	ふりがな			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	〒	—		
	利用者氏名							
	生年月日	年	月	日 ( 歳)	TEL:			
	住環境	<input type="checkbox"/> 戸建 <input type="checkbox"/> アパート・マンション ( 階) <input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> 施設 ( )						
	障害等認定	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 身障 ( 級) <input type="checkbox"/> 精神 ( 級) <input type="checkbox"/> 療育 <input type="checkbox"/> 特定疾患 ( )						
	要介護認定	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 要支援 ( ) <input type="checkbox"/> 要介護 ( ) <input type="checkbox"/> 申請中 有効 年 月 日～ 年 月 日						
	経済状況	<input type="checkbox"/> 年金 ( ) <input type="checkbox"/> 生活保護 <input type="checkbox"/> 他 ( )						
本人・家族	連絡先	氏名: 続柄 ( ) TEL: ( )			主介護	氏名: ( )		
		氏名: 続柄 ( ) TEL: ( )				続柄: ( )	年齢: ( ) 歳	
	介護状況				家族構成	<input type="checkbox"/> ◎本人		
	性格趣味					<input type="checkbox"/> 男	<input type="radio"/> 女	
生活歴				☆キーパーソン		■●死亡		
利用者サービス	医療機関				薬局			
	歯科医療機関				居宅療養管理指導	職種: ( )		
	介護サービス 自己負担割合 ( 割)	<input type="checkbox"/> 訪問介護 回・週	<input type="checkbox"/> 訪問看護 回・週	<input type="checkbox"/> 訪問入浴 回・週	<input type="checkbox"/> 訪問リハ 回・週	<input type="checkbox"/> 通所介護 回・週	<input type="checkbox"/> 通所リハ 回・週	<input type="checkbox"/> 短期入所 回・月
身体・生活機能	疾患歴						医療処置 <input type="checkbox"/> 無	
	お薬情報	服薬管理 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助			服薬状況 <input type="checkbox"/> 処方通り <input type="checkbox"/> 飲み忘れ時々 <input type="checkbox"/> 飲み忘れ多い <input type="checkbox"/> 処方守れない		<input type="checkbox"/> 胃ろう <input type="checkbox"/> 経鼻栄養 <input type="checkbox"/> IVH <input type="checkbox"/> インスリン <input type="checkbox"/> 末梢点滴 <input type="checkbox"/> 気管切開 <input type="checkbox"/> 酸素 ( L) <input type="checkbox"/> 麻薬 <input type="checkbox"/> 人工呼吸 <input type="checkbox"/> 尿道カテ <input type="checkbox"/> 人工膀胱 <input type="checkbox"/> 人工肛門 <input type="checkbox"/> 吸痰 ( 回/日 ) <input type="checkbox"/> 導尿 ( 回/日 )	
	入院歴	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 過去1年間の入院回数 ( 回) 直近入院 年 月 頃					<input type="checkbox"/> 失見当識 <input type="checkbox"/> 徘徊 <input type="checkbox"/> 理解力なし <input type="checkbox"/> せん妄 <input type="checkbox"/> 暴言暴力 <input type="checkbox"/> 大声 <input type="checkbox"/> うつ傾向 <input type="checkbox"/> 昼夜逆転 <input type="checkbox"/> 介護抵抗 <input type="checkbox"/> 不潔行為	
	アレルギー	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	視力支障 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 聴力支障 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	褥瘡 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 発赤 <input type="checkbox"/> びらん <input type="checkbox"/> 潰瘍	麻痺 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 他部位 <input type="checkbox"/> 左上肢 <input type="checkbox"/> 右上肢 <input type="checkbox"/> 左下肢 <input type="checkbox"/> 右下肢 <input type="checkbox"/> 軽度 <input type="checkbox"/> 中度 <input type="checkbox"/> 重度	口腔ケア <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	義歯使用 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> 不使用 <input type="checkbox"/> 義歯不要	
	医療特記	意思疎通 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 一部可 <input type="checkbox"/> 不可 睡眠障害 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 嚥下機能 <input type="checkbox"/> 良 <input type="checkbox"/> 不良						
	移動	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	移乗 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	更衣 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	入浴 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	食事 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	食事形態 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> きざみ <input type="checkbox"/> 嚥下食 <input type="checkbox"/> ミキサー	摂取方法 <input type="checkbox"/> 経口 <input type="checkbox"/> 経管 摂取制限 <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> 水分 ケアマネジャーが考える 在宅生活に必要な要件
	移動手段	<input type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 車いす	起居動作 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	整容 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	排尿 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	排便 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助	排泄方法 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> ポータブル <input type="checkbox"/> 尿器 <input type="checkbox"/> おむつ	
	入院前の本人家族の意向	特記事項						
					記入者	所属	職種: ( )	
					TEL	FAX		
退院前カンファレンスの開催 <input type="checkbox"/> 希望あり								

一宮市地域連携アセスメントシート  
入院時情報提供先の病院担当窓口一覧

医療機関名	担当窓口	TEL (局番 0586)	FAX (局番 0586)
一宮市立市民病院	医療福祉相談室	71-1911 (代)	71-1922 (直)
一宮市立木曾川市民病院	地域連携室	86-2173 (代)	84-3230 (直)
総合大雄会病院	医療福祉相談室	72-1211 (代)	24-8096 (直)
大雄会第一病院	医療福祉相談室	72-1211 (代)	26-2092 (直)
一宮西病院	医療福祉相談室	48-0073 (直)	48-0051 (直)
尾西記念病院	医療福祉相談室	62-2221 (代)	62-1223 (代)
上林記念病院	医療福祉相談室	61-0110 (代)	61-5639 (代)
いまいせ心療センター	医療福祉相談室	45-2531 (代)	44-7411 (代)
泰玄会病院	医療相談室	61-2121 (代)	62-2611 (直)
泰玄会西病院	医療相談室	63-3200 (代)	63-3211 (代)
千秋病院	医療福祉相談室	77-0012 (代)	77-5107 (直)
山下病院	入退院支援センター	45-4516 (直)	44-8291 (直)
尾洲病院	地域サポート課	53-6202 (直)	53-6203 (直)
いまむら病院	医療相談室	73-8141 (代)	73-2172 (代)
国井病院	事務局	87-5505 (代)	87-2920 (代)

# 救急患者基本情報シート

年 月 日 作成

普段の身体状態と緊急連絡先などの情報を記入し、救急搬送時に救急隊および搬送先医療機関へ渡してください。(連絡先変更や状態変化のつど内容を更新してください)

フリガナ		性別	男 ・ 女	年齢	歳
氏名		生年月日	M・T・S	年 月 日	
自宅住所					

\* 現在入所中の場合のみ記載

施設住所

入所施設名		TEL	( ) -
-------	--	-----	-------

緊急連絡先 (キーパーソン) ①	氏名		TEL	自宅 ・ 携帯 ・ 職場 ・ その他 ( ) -
	続柄	住所		
緊急連絡先 (キーパーソン) ②	氏名		TEL	自宅 ・ 携帯 ・ 職場 ・ その他 ( ) -
	続柄	住所		
かかりつけ 医療機関	施設名		TEL	( ) -
	医師名		FAX	( ) -
担当 ケアマネジャー	施設名		TEL	( ) -
	氏名		FAX	( ) -

病歴等	現在治療中の病気・ケガ		既往歴	
常用薬	<input type="checkbox"/> 別添参照 (お薬手帳など) <p style="text-align: right;">* 搬送時、お薬手帳や薬剤情報がわかる書類も添付して下さい</p>			
アレルギー		歩行	可 ・ 一部可 ・ 不可	
麻痺	左上肢 ・ 右上肢 ・ 左下肢 ・ 右下肢	意思伝達	可 ・ 一部可 ・ 不可	

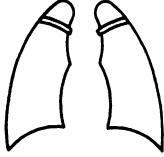
● ご本人の望みに近いものを選んでください (この内容で最終判断することはありません)

死に直面した時	<input type="checkbox"/> 何もせず自然のままがよい <input type="checkbox"/> 延命治療を行ってほしい <input type="checkbox"/> わからない
食事が困難になった時	<input type="checkbox"/> 食べられなくなったら、何もせず自然のままがよい <input type="checkbox"/> 点滴や胃ろうなどの器具を使って、水分や栄養を補給してほしい <input type="checkbox"/> わからない
呼吸が困難になった時	<input type="checkbox"/> 自力で呼吸ができなくなったら、何もせず自然のままがよい <input type="checkbox"/> 人工呼吸器や気管切開で、呼吸できるようにしてほしい <input type="checkbox"/> わからない
望みを確認した方	<input type="checkbox"/> 本人が確認 <input type="checkbox"/> 本人以外の方が確認 (氏名: _____ 続柄: _____)
確認日	年 月 日 <p style="text-align: right;">一宮市在宅医療・介護連携推進協議会</p>



# 一宮市介護サービス共通診断書

通所等

フリガナ			男・女	生年月日	
氏名				M・T・S	年 月 日( 歳)
住所					
血圧	/	mmHg	身長	cm	体重 kg
現病名	1.	年 月 発症	既往歴	1.	年 月 発症
	2.	年 月 発症		2.	年 月 発症
	3.	年 月 発症		3.	年 月 発症
	4.	年 月 発症		4.	年 月 発症
	5.	年 月 発症		5.	年 月 発症
胸部X線 撮影	撮影日： 年 月 日		与薬内容		
	所見： 				
	結核（無・陈旧性有・治療中）		感染症	無・有（HBs抗原・HCV抗体・TPHA） ※ 過去の検査結果があれば流用可	
褥瘡	無・有（ ）		疥癬	無・有（ ）	
皮膚疾患	無・有（ ）		アレルギー	無・有（ ）	
視力	普通・見えにくい・見えない		聴力	普通・難聴（軽度・中度・重度）	
障害高齢者の 日常生活自立度	自立 J1 J2 A1 A2 B1 B2 C1 C2		認知症高齢者の 日常生活自立度	自立 I IIa IIb IIIa IIIb IV M	
入浴	可・不可（注意事項： ）				
	可能値（血圧：上限 ～ mmHg 下限 ～ mmHg）（体温：上限 ℃）				
リハビリ 機能訓練	可・不可（注意事項： ）				
	可能値（血圧：上限 ～ mmHg 下限 ～ mmHg）（体温：上限 ℃）				
特記事項、その他留意すべき医療情報					

上記のとおり、診断いたします。

年 月 日 医療機関名

医師氏名

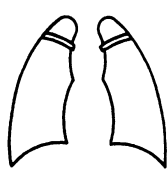
印

※ 診断書の有効期間は、作成日から原則 6 か月です(ただし状態変化が認められる時は再作成)。

※ 診断書原本は本人・家族が管理し、介護サービス事業所は原本を複写し保管してください。

# 一宮市介護サービス共通診断書

入所

フリガナ			男・女	生年月日 M・T・S 年 月 日( 歳)		
氏名						
住所						
血圧	/	mmHg	身長	cm	体重	kg
現病名	1.	年 月 発症	既往歴	1.	年 月 発症	
	2.	年 月 発症		2.	年 月 発症	
	3.	年 月 発症		3.	年 月 発症	
	4.	年 月 発症		4.	年 月 発症	
	5.	年 月 発症		5.	年 月 発症	
与薬内容						
胸部X線 撮影	撮影日： 年 月 日		心電図	検査日： 年 月 日		
	 所見： 結核（無・陳旧性有・治療中）			所見： 感染症 無・有（HBs抗原・HCV抗体・TPHA） ※ 過去の検査結果があれば流用可		
血液検査	検査日：平成 年 月 日 ※ 直近4か月以内のデータ記入もしくは結果票添付					
	Hb	g/dl	GOT	IU/l	GPT	IU/l
	γ-GTP	IU/l	TG	mg/dl	LDL	mg/dl
	CRE	mg/dl	ALB	g/dl	(糖尿病の場合) HbA1c %	
褥瘡	無・有（ ）		疥癬	無・有（ ）		
皮膚疾患	無・有（ ）		アレルギー	無・有（ ）		
視力	普通・見えにくい・見えない			聴力	普通・難聴（軽度・中度・重度）	
障害高齢者の 日常生活自立度	自立 J1 J2 A1 A2 B1 B2 C1 C2			認知症高齢者の 日常生活自立度	自立 I IIa IIb IIIa IIIb IV M	
経過及び特記事項						

上記のとおり、診断いたします。

年 月 日 医療機関名

医師氏名

印

※ 診断書の有効期間は、作成日から原則6か月です(ただし状態変化が認められる時は再作成)。

※ 診断書原本は本人・家族が管理し、介護サービス事業所は原本を複写し保管してください。



病院には相談窓口があります

# 医療ソーシャルワーカーのいる病院

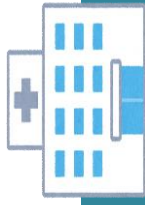


## 医療ソーシャルワーカーはこんなことができます

突然の病気や怪我で、その治療や療養生活が始まります。患者さん・ご家族は、それぞれの家庭事情なども重なり不安を抱えにくくありません。医療ソーシャルワーカーは、患者さん・ご家族の抱える医療費や生活費などの経済的問題、高齢世帯や、一人暮らし、遠距離介護など社会的問題、病気と向き合ったり、入院生活への不安や悩みなど心理的問題など、その相談を受け、医師や看護師など院内スタッフとの連絡調整を行います。

また、一宮市役所などの行政機関、医療機関、介護施設などとの懸け橋となり、より良い解決方法を一緒に考えていく仕事をしています。

具体的には、通院・入院患者さん・ご家族などに、入退院の相談窓口、介護保険や障害年金などの手続き、退院後の社会復帰・在宅医療介護への橋渡し、リハビリなどの専門病院や、介護施設への入所調整などを担っています。 私たち医療ソーシャルワーカーは、一宮市の保健・医療・福祉の充実に努めています。



## どんな病院があるのか知っておきましょう

病院名	住所・電話	病棟(病床)種類			
		一般病棟	地域包括ケア病棟(仮称)	回復期/リハビリ病棟	療養病棟
一宮市立木曾川市民病院	一宮市木曾川町黒田北野黒165 電話：0586-86-2173	○	○	○	
一宮市立市民病院	一宮市文京2-2-22 電話：0586-71-1911	○			○
一宮西病院	一宮市開明平1 電話：0586-48-0077	○			
いまいせ心療センター	一宮市今伊勢町宮後郷中茶原30 電話：0586-45-2531				○
いまむら病院	一宮市今伊勢町本神戸無量寺東17 電話：0586-73-8141				○
上林記念病院	一宮市奥町下口西89-1 電話：0586-61-0110	○	○	○	○
総合大雄会病院	一宮市桜1-9-9 電話：0586-72-1211	○	○	○	
泰玄会西病院	一宮市小信中島郷中104 電話：0586-63-3200				○
泰玄会病院	一宮市東五城備前1-1 電話：0586-61-2121	○	○		
大雄会第一病院	一宮市羽衣1-6-12 電話：0586-72-1211	○			
千秋病院	一宮市千秋町塩尻山王1 電話：0586-77-0012	○	○	○	
尾西記念病院	一宮市富田宮東1718-1 電話：0586-62-2221	○	○	○	
尾洲病院	一宮市浅井町小比野新太37 電話：0586-51-5522				○
山下病院	一宮市中町1-3-5 電話：0586-45-4516	○	○		



2020年10月1日  
作成 一宮SW連絡会

### ① 一般病棟

緊急または重症な患者さんに高度で専門的な医療、早期からリハビリテーションを行う病棟です。入院期間は病状によって異なりますが、おおむね14日以内となります。

### ② 地域包括ケア病棟(病床)

緊急での治療が終了し、すぐに自宅や施設へ退院するには不安のある患者さんに対し、しばらくの間、療養を継続し在宅復帰に向けての準備を整えるための病棟です。在宅復帰支援計画に基づき、主治医をはじめ看護師、リハビリテーションスタッフ、ソーシャルワーカーなどが協力し、患者さんの在宅復帰に向けた準備・相談を行います。

### ③ 回復期リハビリテーション病棟

緊急での治療が終了し、特定の疾患(脳卒中や、大腸癌の骨折不など)の患者さんに対して、食事、更衣、排泄、歩行、会話など日常生活に必要な訓練を行い、嚥下まじりの防止と、家庭復帰を目的とします。医師、看護師、理学療法士、作業療法士などが共同で、リハビリテーションプログラムを作成し、集中的に取り組みます。

### ④ 療養病棟

病状は安定しているものの、慢性期の状態にあり、医療の必要性の高い患者さんの療養を行います。必要の病状や、日常生活の動作がどの程度できるかなどによって、入院が可能かどうかなどの条件もあります。

### ⑤ 精神科病棟

統合失調症、うつ病、不眠症、認知症、アルコール依存症などで入院治療を行う病棟です。治療方法には精神療法、カウンセリング、薬物療法、作業療法などが用いられます。

### ⑥ 緩和ケア病棟

こころと身体の苦痛などの症状をやわらげ、「最期まで自分らしく生きていきたい」、「最期まで住み慣れた場所で過ごしたい」をサポートする病棟です。その人らしい人生を過ごすことができるようお手伝いします。

**尾張西部医療圏  
看護・介護連携シート**

下記本人(家族)の同意に基づき、利用者の身体・生活機能等の情報を送付します。

情報提供先 \_\_\_\_\_ 西暦 年 月 日

ふりがな			性別	住所	TEL:	
氏名			<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女			
生年月日	西暦	年	月	日(満 歳)	住居	<input type="checkbox"/> 戸建 <input type="checkbox"/> アパート マンション <input type="checkbox"/> 施設 ( )
障害等認定	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 身障( )級		<input type="checkbox"/> 精神( )級		<input type="checkbox"/> 療育 <input type="checkbox"/> 特定疾患( )	
要介護認定	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 区変中		要支援( )		要介護( ) 居宅事業所( ) CM( )	
診断名 または症状			入院・入所期間	西暦	年	月 日 ~ 年 月 日 まで
経過 (病状説明・ 術式等含む)				家族構成	本人への病名 告知の有無 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	
				<input type="checkbox"/> ○本人 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 ☆キーパーソン 決定権あり <input type="checkbox"/> ●死亡		
既往歴				連絡先	氏名: _____ 続柄( ) TEL: _____	
					氏名: _____ 続柄( ) TEL: _____	
経済状況	<input type="checkbox"/> 年金( ) <input type="checkbox"/> 生活保護		<input type="checkbox"/> その他( )		生活歴	
アレルギー	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( )			感染症 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( )		
麻痺	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 左上肢 <input type="checkbox"/> 右上肢 <input type="checkbox"/> 左下肢 <input type="checkbox"/> 右下肢 <input type="checkbox"/> その他( )					
視力・聴力	視力( <input type="checkbox"/> 支障なし <input type="checkbox"/> 支障あり )		聴力( <input type="checkbox"/> 支障なし <input type="checkbox"/> 支障あり )		補助具使用 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( )	
意思の伝達	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 一部可 <input type="checkbox"/> 不可		理解力 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 一部あり <input type="checkbox"/> 有			
行動・ 心理症状	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 記憶障害 <input type="checkbox"/> 昼夜逆転 <input type="checkbox"/> 暴言暴力 <input type="checkbox"/> 抑うつ・不安 <input type="checkbox"/> その他の症状 <input type="checkbox"/> 幻覚妄想 <input type="checkbox"/> 介護抵抗 <input type="checkbox"/> 不潔行為 <input type="checkbox"/> 徘徊 <input type="checkbox"/> 大声 ( )					
睡眠障害	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有(使用薬物 )					
起居動作	立ち上がり( <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 介助 ) 起上り( <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 介助 ) <input type="checkbox"/> 寝たきり					
移動	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 介助 補助具( <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 車椅子 )					
衣服の着脱	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助					
食事 摂取	摂取方法		<input type="checkbox"/> 経口 <input type="checkbox"/> 経鼻 <input type="checkbox"/> 胃瘻 <input type="checkbox"/> その他( )		栄養剤内容: _____ Kcal / 白湯 ml	
	食形態		<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 一口大 <input type="checkbox"/> 刻み <input type="checkbox"/> ミキサー <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> トロミ( <input type="checkbox"/> フレンチドレッシング状 <input type="checkbox"/> とんかつソース状 <input type="checkbox"/> ケチャップ状 <input type="checkbox"/> マヨネーズ状 )			
	食事制限		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( )		継続医学管理	
口腔	食動作		<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助		<input type="checkbox"/> HPN <input type="checkbox"/> CV ポート <input type="checkbox"/> 末梢	
	口腔ケア		<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助		<input type="checkbox"/> 吸痰( 回/日 )	
	義歯使用		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 一部義歯(上・下) <input type="checkbox"/> 総義歯		<input type="checkbox"/> 酸素( L )	
排泄	自立度		<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> ポータブル <input type="checkbox"/> 尿器 <input type="checkbox"/> オムツ		<input type="checkbox"/> NPPV( L )	
	尿意		<input type="checkbox"/> 有( 回 ) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 留置カテ (最終交換日 / Fr) <input type="checkbox"/> ストマ(交換頻度 回/週)		<input type="checkbox"/> インスリン( <input type="checkbox"/> 自己管理 <input type="checkbox"/> 他者管理 ) 薬剤: _____ 単位: _____	
	便意		<input type="checkbox"/> 有( 回 ) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> ストマ(交換頻度 回/週) 最終排便( / )		<input type="checkbox"/> 褥瘡 (部位: _____ 処置方法: _____ )	
清潔	清潔		<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助		<input type="checkbox"/> その他	
	入浴		<input type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 清拭			
服薬管理	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> 一部介助 <input type="checkbox"/> 全介助 ( )					
特記事項	直近バイタル T P R BP (測定日 月 日) 身長 cm/体重 kg (測定日: 月 日)					
記入者	所属				担当者	
	TEL		FAX		職種	

## 参考、引用したデータベース

### 本ガイドライン作成にあたって、参考としたデータベースを示す

---

#### 下記 1～4

一宮市在宅医療・介護連携推進協議会作成様式（一宮医師会ホームページ掲載）  
[http://www.ichinomiya.aichi.med.or.jp/home\\_healthcare/support/](http://www.ichinomiya.aichi.med.or.jp/home_healthcare/support/)

1. 一宮市地域連携アセスメントシート  
一宮市地域連携アセスメントシート  
“別紙” 入院時情報提供先の病院担当窓口の一覧
2. 救急患者基本情報シート
3. 一宮市介護サービス共通診断書（入所、通所等）
4. 主治医・ケアマネジャーFAX連絡票

---

#### 下記 5

一宮SW連絡会作成様式

5. 医療ソーシャルワーカーのいる病院

---

#### 下記 6

尾張西部医療圏病院看護管理者会

6. 尾張西部医療圏 看護・介護連携シート